

作付率の差異を5年で縮小 藤島は稲作付105%減る 鶴岡市農業振興協

鶴岡市農業振興協議会(会長・榎本政規市長)が31日、市中央公民館で開かれ、生産数量目標の算定方法の見直しが了承されました。

市の新しい算定の基本的方向は、国・県の動向を踏まえ、地域間の作付率の差異を調整する「大規模経営」「環境保全型農業の推進」を算定要素に加える2点です。

市町村間の格差縮小

県は、市町村間の配分格差を3年後には10%未満

満、5年後には2分の1程度に段階的に縮小していく。

水田面積に応じた基本部分について11年産米の配分率を基準に

3年後に95%に設定。「売れる米づくり」の推進として有機、特別栽培米、担い手支援(10%以上)、消費者ニーズに定める(結びつき数量)に取り組む産地への加算部分は3年間で2・5%から5%に段階的に引き上げる1としていきます。

この結果、平成24年産米の配分では、内陸は稲作付けが増え、庄内は鶴岡市と三川町、庄内町が減りました。

市の新たな算定方法

鶴岡市の新たな算定方法は、「傾斜配分」を

きびちよ



横から
口出し
寄稿欄

フランス消費税19・8%はウン

フランス在住のエッセイスト、デュラン・れい子さんが「しんぶん赤旗」に書いていました。一時帰国するたびにびっくりするということです。

フランス消費税19・8%のウン



フランスの消費税は、2012年2月6日(日曜)に19・8%に引き上げられる。これは、2007年7月1日の15・5%から、2011年1月1日の17・5%を経て、2012年2月6日の19・8%へと引き上げられる。これは、フランスの消費税の歴史の中で、最も大きな引き上げである。フランスの消費税は、ヨーロッパ各国の中で最も高い。これは、フランスの財政赤字を削減するために導入された。フランスの消費税は、ヨーロッパ各国の中で最も高い。これは、フランスの財政赤字を削減するために導入された。

2012年産米の市町別の生産数量目標(12.27発表)

	生産数量目標 (t)	面積換算 (ha)	対前年比	
			(t)	(ha)
県計	368,990	62,120	60	10
鶴岡市	59,733	10,300	81	31
酒田市	43,137	6,992	104	8
三川町	8,936	1,488	174	28
庄内町	22,024	3,721	324	65
遊佐町	12,849	2,107	344	54

鶴岡市の新たな算定方法は、「傾斜配分」を

除く「均等配分」について、5年間で全市一律にするとしていきます。傾斜配分について、大規模加算は、平野部では7haから20ha以上まで4段階に分け、24年度は1〜4%の加算、26年度には3〜12%の加算まで高める。環境加算は、前年度の有機・特別栽培の面積に対し、24年度1%から27年度5%の加算まで高める1としていきます。均等配分は、傾斜配分以外の分について、23年産米ベースで最大の藤島地域の68・6%と最小の温海地域の55・4%(13・2ポイント差)を、5年間で段階的に63・5%に統一するとしていきます。この結果、藤島地域は24年度、151トン、29ha、作付率0・8ポイントの67・8%に落ち込みます。5年後には62・3トン、105ha、作付率3・1ポイントの65・5%となり、減反拡大の痛みが大きく迫ります。「大規模経営」と「環境保全」に配慮しつつも、地域に応じた適地適作への配慮は失われなくなっています。

大規模加算 2012.01.31鶴岡市農業振興協議会

区分	平野部	中山間部	加算割合(%)				
			H24	H25	H26	H27	H28
区分A	7~10ha	-	1	2	3	3	3
区分B	10~15ha	4~7ha	2	4	6	6	6
区分C	15~20ha	7~10ha	3	6	9	9	9
区分D	20ha~	10ha~	4	8	12	12	12

環境加算		加算割合(%)				
		1	2	3	5	5

需要量に関するシミュレーション結果(概要) 2012.01.31鶴岡市農業振興協議会

	H23			H24			H25			H26			H27			H28			H28-H23増減			単年度平均増減			
	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	需要量	換算面積	作付率	
	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	(トン)	(ha)	(%)	
鶴岡	23,843	3,973	65.5	23,801	3,960	65.3	23,805	3,961	65.3	23,809	3,961	65.3	23,748	3,952	65.1	23,739	3,950	65.1	鶴岡	-104	-23	-0.4	-21	-5	-0.1
藤島	14,167	2,338	68.6	14,016	2,309	67.8	13,891	2,289	67.1	13,768	2,269	66.5	13,683	2,254	66.1	13,554	2,233	65.5	藤島	-613	-105	-3.1	-123	-21	-0.6
羽黒	10,142	1,773	64.4	10,157	1,773	64.4	10,184	1,778	64.6	10,212	1,782	65.0	10,255	1,790	65.0	10,283	1,795	65.2	羽黒	141	22	0.8	28	4	0.2
榎引	6,681	1,135	63.5	6,709	1,137	63.7	6,739	1,142	64.0	6,769	1,147	64.2	6,820	1,156	64.7	6,856	1,162	65.1	榎引	175	28	1.6	35	6	0.3
朝日	3,180	580	64.1	3,188	580	64.1	3,194	581	64.2	3,200	582	64.3	3,197	581	64.2	3,209	583	64.5	朝日	29	3	0.4	6	1	0.1
温海	1,801	354	55.4	1,862	365	57.1	1,920	377	58.9	1,977	387	60.6	2,030	398	62.3	2,093	410	64.2	温海	292	56	8.8	58	11	1.8
合計等	59,814	10,154	65.4	59,734	10,124	65.1	59,732	10,127	65.1	59,733	10,129	65.1	59,733	10,131	65.1	59,733	10,134	65.1	合計等	-81	-20	0.0	-16	-4	0.0

藤島では今後5年間で稲作付面積が105haも減る

民間の保育園経営者と

議会厚生文教常任委員と懇談

市議会厚生文教常任委員（安野良明委員長）と民間保育園経営者との懇談会が27日、京田コミセンで開かれました。

はじめに市保育園経営者協議会（21法人）の後藤勇会長（田川保育会理事長）があいさつをおこない、市民間保育園協議会（32園）の富樫孝雄会長（美咲保育園園長）が「民間保育園の課題と現状」

について報告しました。

特に、私立保育所運

営費の国庫負担が、子ども手当の財源探しの中で一般財源化が検討されていることや、国の「子ども・子育て新システム」に対して危機感が述べられました。

公立保育所では、運営費の国庫負担金は04年度に小泉・自公政権の「三位一体改革」で一般財源化され、保育予算削減に追い込まれ

ました。鶴岡市の特別保育事業費補助金について、①病児・病後児保育事業では看護師確保が難しく、②発達支援事業では市の単独補助が月額7万3500円（年88万2千円）では園の持ち出しが大きいとして、補助金の増額が訴えられました。

県では、平成23年度から途中入所者への保育士配置に対し「入園安心サポート事業」を実施していますが、年度途中の保育士確保は



ました。

鶴岡市の特別保育事

業費補助金について、

①病児・病後児保育事業では看護師確保が難

しく、②発達支援事業では市の単独補助が月額7万3500円（年88万2千円）では園の持ち出しが大きいとして、補助金の増額が訴えられました。

山形おきたま農協の代表理事理事長・鈴木菊雄さんが、しんぶん「赤旗」の魅力について語っています。（2/4）

留飲下がるTPP報道

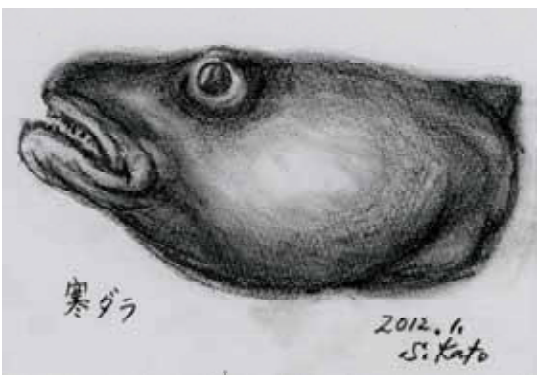
山形おきたま農業協同組合代表理事理事長 鈴木菊雄さん



「しんぶん赤旗」を購読したのは3年ほど前からです。それまでは、政党の機関紙で堅苦しく、一部の人間たちだけ読んでいるものだと思っていました。しかし、実際に読んでみると実にわかりやすい。いろいろな問題や課題について、現実から出発してよく調査、分析していると思います。環太平洋連携協定（TPP）、普天間問題、「社会保障と税の一体改革」が日本の重要課題ですが、「赤旗」が新聞の中で一番わかりやすい。TPP問題は、政党の中で一番はっきりしていますね。わかりやすく筋を通していきます。農業新聞と「赤旗」を職に期待しています。

寒鰯の目玉をしやぶる周平忌

工藤 博司



（画・加藤貞雄）

藤沢周平さんの忌日は一月二六日である。

藤沢さんが亡くなられてからもう十五年の歳月が流れた。忌日は「寒梅忌」と呼ばれ、藤沢さんの作品や人柄を慕って、一月の寒さもかえり見ず全国から人々が鶴岡に参集する。この季節はまた、寒鰯の季節である。藤沢さんは、日本海沿岸の魚を好み、とりわけカレイ、ハタハタ、小鯛などを口にした。地場産の魚はしきりに藤沢作品に登場する。寒鰯も例外でない。寒鰯の目玉のゼラチン質をしゃぶっているとしきりに藤沢さんの思い出に浸ることが出来る。今年も豊漁ののだが大シケが続くように漁に出られないのが残念。庄内人は、寒鰯汁を口にしないで春を迎えることが出来ない。

募集しても応募がなく、市があらかじめ確保して派遣する体制を求めています。市単独の運営費補助金の上乗せは、22年度から人数割が6000円から5600円に下げら

続・私説藤沢周平

『義民が駆ける』

家老松平甚三郎は、風邪で頭が重かったが、江戸の大山庄太夫からの手紙で気分が少し明るくなっていった。手紙は川北江戸登りが駕籠訴に成功した反響を知らせたものである。

家老・老中・組頭6人が集まり執政会議が始まる。松平は、手紙は回覧して見てもらおうと言いつつ話を話す。「百姓において前代未聞の訴え、酒井は良い百姓をもつてしあわせだ、と言った声があったらしいの。取調べの役人の中には涙を流した者もいた由じや」

「諸侯の中には、近年百姓の反抗に手を焼いているところもあるし、そこまで行かなくとも領内いずれも治め辛くなってきたおる。かかる時節に、荘内は領主引き留めを歎願にきたというところが、いたく同情を買った模様だの。」

このような動きのなかで、伊達・前田・毛利・島津・藤堂など、そうそうたる外様大名の顔ぶれからも伺いが出され、藤堂和泉守からは「右何様の儀にて、長岡下し置かれ候や伺い奉り申したく」と、国替えの理由を承りたいたの厳しい伺書が出されてきた。藤堂和泉守は外様大名筆頭である。

このような情勢のなかで、命令は出したも

酒井は良い百姓を

の、幕閣は転封の制限を示すこともできず、動きがとれない膠着状態になっている。

きびちよ



横から口出し寄稿欄 考えられない！

「議事録がなかった」 (せば、総会さほかげだなが。(んだ) (んだ) だば総会の資料と議事録、持って来いちゃ) ……役場の係と生産組合長とのやりとりを想像して下さい。

この集落で共同作業の機械を、国の補助制度を使って入れたという事が組合員の総意だとする議事録を、申請書に付けなければならぬのだ。生産組合だって、書記を選んですべての流れを議事録に書いていくのです。

それがなんですか。国が原発の関連で開いた10の会議の議事録がなかったなどは、考えられないことです。

書かない係が悪いのか、書けよと指示しなかった管理者が悪いのか。しかし、そんな事まで指示となると、議事録なんて慣例になっ

ていない事になるネー。これから議事録をつくるそうだが、どっかに責任が出てくるような内容の書き方ができるのか。いずれにしても偽造録にならないように！ (石川)